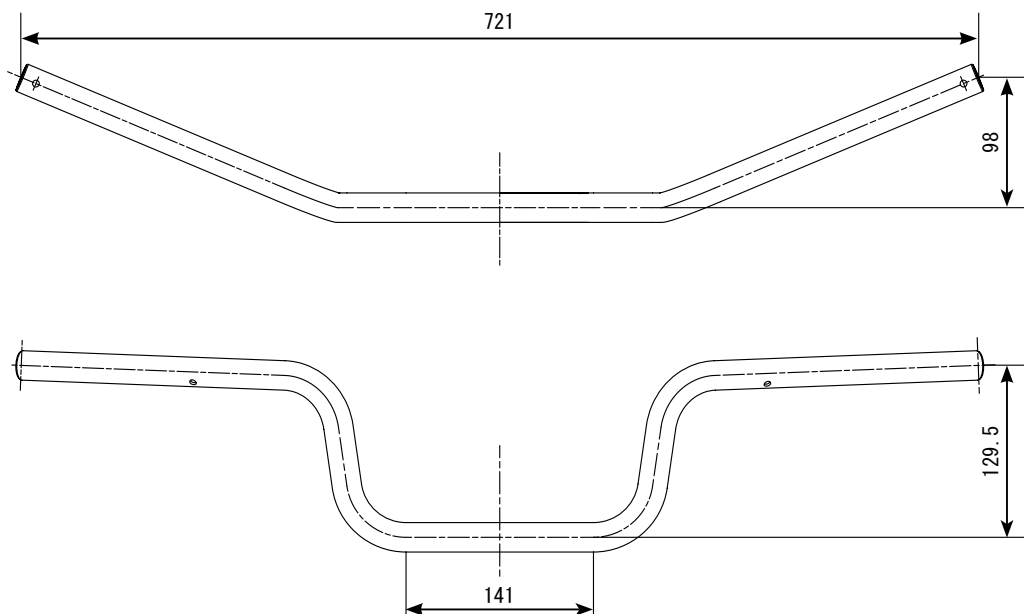


ステアリングハンドルパイプ 取扱説明書

製品番号 06-01-2011

適応車種	クロスカブ (JA10-4000001 ~)
	クロスカブ 110 (JA45-1000001 ~)
	(JA60-1000001 ~)



※ハンドルパイプ径 22.2mm
肉厚 1.6mm

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎JA10型に取り付ける場合、別売のハンドルガードが必要となります。このハンドル単体ではスピードメーターの取り付けが出来ません。

(JA45/JA60型除く)

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

～特徴～

○このハンドルは、ノーマルハンドルから高さ、シボリ角度、全幅等の変更により違和感の無いライディングポジションとしております。

○各ハウジング位置決め穴加工済みですので、ボルトオンで取り付け出来るクロスカブ・クロスカブ110専用のステアリングハンドルバーです。

○ノーマルのハンドルウエイトを取り付け出来る様にしており、ノーマルハンドルウエイト、専用の弊社製ハンドルバーエンドがご使用頂けます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■ハンドルバー両端部には、エッジ及びカエリ等がある場合があります。作業は充分注意して行って下さい。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■転倒などを行った場合、必ず各部を点検しクラック等の異常が有る場合はそのまま使用せず、部品交換を行ってください。

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- L/Rミラーホルダーからミラーを取り外します。
- ハーネス類のワイヤリングを外します。
- L/Rハンドルウエイト部のスクリューを外し、ハンドルウエイトを取り外します。



- L/Rのスイッチハウジングの2本のスクリューを外し、ハウジングを分割しハンドルバーから外し、R側からスロットルパイプを取り外します。

L側



R側



- ハンドルバーからL.ハンドルグリップを取り外します。



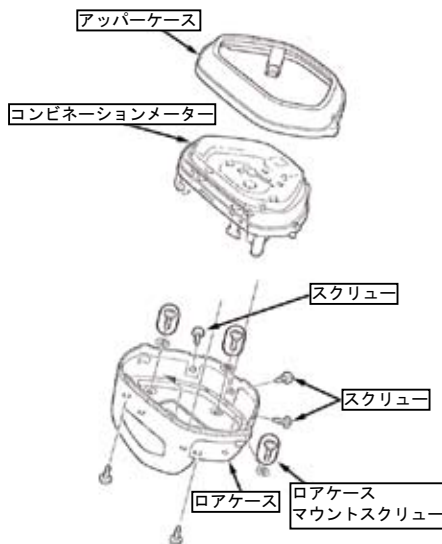
JA10に取り付ける場合、弊社製ハンドルガードと同時装着が必要になります。JA10は、ハンドルガード装着も含めた取り付け内容としております。又、JA45及びJA60に取り付ける場合も作業性を考慮し、スピードメーターを取り外して作業する内容にしています。

- スピードメーターケーブルを外します。



JA45

- メーターケースのスクリュー5本を外し、アップパーケース、コンビネーションメーターを外し、ロアケースマウントスクリュー3本を外し、ハンドルバーからメーターケースを取り外します。



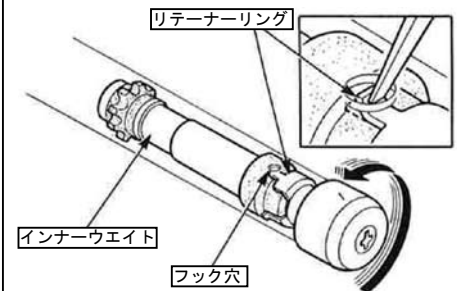
JA60

- ロアケースをとめている2本のスクリューを外し、メーターケースを取り外します。

- ハンドルホルダーのボルトを外し、ハンドルホルダーからステアリングハンドルを取り外します。

- 取り外したハンドルウエイトを取り外したノーマルハンドルに一旦取付けます。
- ハンドル先端のフック穴に引っかかっているリテーナーリングの爪を先の細いドライバーやポンチ等を利用し、フック穴からリテーナーリングの爪を押し込み、ハンドルウエイトを回しながら引き抜きます。

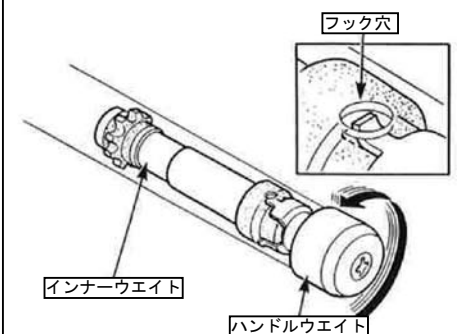
※方錆潤滑剤等を少量注入する事で作業性が向上します。
(弊社製汎用ハンドルパーエンドを使用される場合、インナーウエイトの取り付けは必要ありません。ノーマルハンドルウエイト又は、クロスカブ用パーエンド使用時はインナーウエイトを取り付けて下さい。)



- 取り外し時にリテーナーリングに損傷がある場合、リテーナーリングを新品に交換します。※リテーナーリングの交換を推奨します。純正品番：53108-KR3-770

リング、ハンドルウエイトスナップ

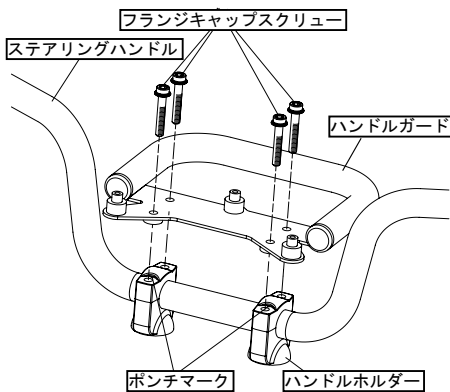
- インナーウエイトをキットのハンドルにフック穴にリテーナーリングの爪が、掛かる様にハンドルウエイトを回しながら押し込み取り付けます。



- ハンドルウエイトを一旦取り外します。

JA10

○ハンドルホルダーにキットのステアリングハンドルをセットし、ハンドルアッパーホルダーのポンチマークがある方を前方に向け取り付け、別売のハンドルガードの裏面カラー4点の突起部をハンドルアッパーホルダーに合わせ、フランジキャップスクリュー4本で仮締めします。



JA10

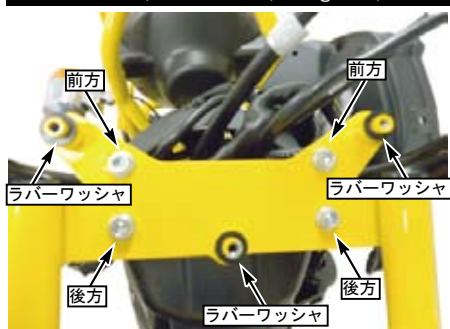
○アッパーホルダーの取り付け下端部にハンドルバーのポンチマークを合わせ、ハンドルガードとハンドルバーと干渉が無いかを確認し調整します。



JA10

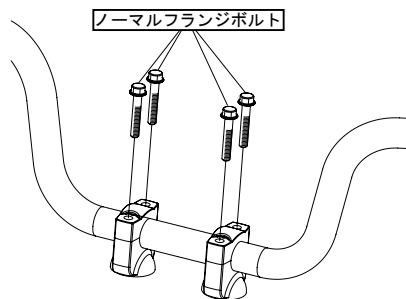
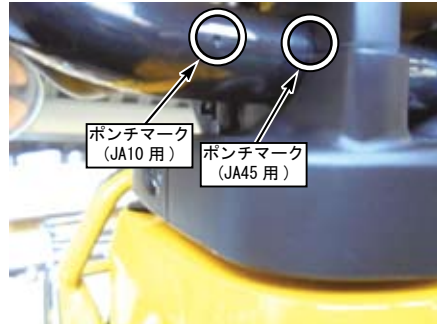
○前方のフランジキャップスクリューを規定トルクまで締め付けた後、後方のフランジキャップスクリューを規定トルクまで締め付けます。取り付けしたハンドルガードのカラー部3点に、ノーマルハンドルからラバーワッシャを取り外し、ハンドルガードのカラー部に取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジキャップスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



JA45/JA60

○ハンドルホルダーにキットのステアリングハンドルをセットし、ハンドルアッパーホルダーのポンチマークがある方を前方に向け取り付け、ハンドルアッパーホルダーに合わせ、フランジボルト4本で仮締めします。(ハンドルのポンチマークは、内側のマークがJA45/JA60用です。取り付け位置を調整し、取り付けて下さい。)

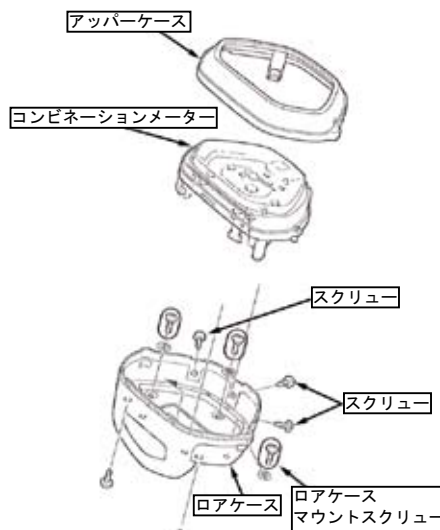


JA45/JA60

○前方のフランジボルトを規定トルクまで締め付けた後、後方のフランジボルトを規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

○取り外しと逆手順で、スピードメーターを取り付け、スピードメーターケーブルを取り付けます。



(図は JA45)

○L. ミラーホルダー及びF. ブレーキレバーホルダーをハンドルバーに取り付け、ボルトを仮締めします。

※ハンドルバーの曲がり終部は若干パイプ径が変形している場合があります。ホルダーが奥まで入りにくい場合、軽くプラスチックハンマー等でたたき入れるか、ホルダーのスリット部を若干開き、ホルダーを奥まで入れて下さい。



○ステアリングハンドルのスロットルパイプ部摺動部に薄くグリスを塗布し、取り外しと逆手順でスロットルパイプ、スロットルケーブルをR.ハウジングに取り付け、ハウジングの突起部とハンドルバーの穴位置を合わせ取り付け、2本のスクリューを締め付けます。L側も同様にハウジングの突起部とハンドルバーの穴を合わせ、スクリュー2本で取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：2.5N・m (0.26kgf・m)

L側

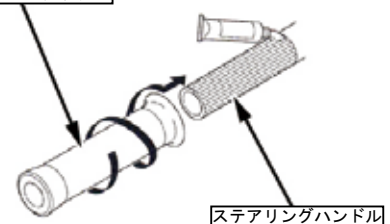


R側



○キットのステアリングハンドルのL. グリップ部接着面にセメダイン#540を薄く塗布し、使用するグリップを回しながら取り付けます。

L. ハンドルグリップ



○L/R ミラーを取り付け、F. ブレーキレバーの位置を調整し、各ホルダーのボルトを規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○ハンドルウェイト又は、弊社製パーエンドを取り付けます。

▲注意：必ず使用する部品の指示に従う事。



○ハーネス類をワイヤリングします。

○ハンドルを左右に切り、ケーブル類に無理が掛かっていないかを確認します。

別途販売品



2ピースハンドルパーエンド各種



JA10(同時装着が必要です。)

ハンドルガード

08-01-0114(イエロー)

08-01-0115(レッド)

08-01-0120(ブラック)

詳しくは弊社総合カタログ又はWEB SITE をご覧下さい。